

2024年
5月6日
No. 170

東京蜘蛛談話会 2024 年度合宿のご案内

2024 年度の合宿は、以下の予定で実施いたします。ただ、離島なので、台風等で中止になる可能性もあります。また、宿やレンタカーの都合もあり、10 人程度を考えています。

1. 期日：2024 年 9 月 10 日（火）から 12 日（木）
2. 場所：東京都新島村 新島
3. 宿舎：植林（うえりん）東京都新島村本村 3-6-14 Tel 04992-5-0836
4. 費用：宿泊費（2 日間の昼食も含む）にレンタカー代（燃料費）等に加え、1 泊 15,000 円くらいを予定しています。新島までの交通費は含んでおりません。
5. 予定：10 日 11 時 40 分 新島港集合
東京（竹芝棧橋）8:50 発のジェット船利用を想定）
港に到着後、レンタカーに分乗して、宿に移動、荷下ろし、お弁当を持って大峰付近に向かいます。
夜間 宿付近の林道
11 日 午前 宮塚山付近
午後 一度宿に向かい弁当を受け取って阿土山付近
夜間 未定
12 日 港近くの海岸線（11 時頃までの予定）14 時 20 分のジェット船で竹芝へ。
注）観察地は決定では無く、初芝が前日入りして確定致します。ご了承ください。
6. 担当・申込先：初芝伸吾 HATSUSHIBA, shingo
mail: hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp
〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8 105 有限会社 エコシス
Tel : 042-501-2651 初芝携帯 090-6156-8378

参加ご希望の方は、6 月下旬までにメール（新島合宿と件名に書き込んで頂けると助かります）・電話等でお知らせください。

東京蜘蛛談話会 2024 年度観察会

1. 期 日： 第1回 2024年 5月18日(土) 第2回 2024年 9月15日(日)
2. 場 所： 片倉城跡公園
3. 集 合： 10:00 JR 片倉駅北口集合
4. 世話人： 輿石, 仲條
5. 連絡先： 前日まではなるべく輿石メール (kssyk26@hotmail.co.jp)
当日は輿石携帯 (080-6626-3069)
または仲條携帯 (070-5578-1416)
※採集は NG ですが, キャッチ&リリースは OK です.

東京蜘蛛談話会総会例会



2024年4月29日 東京環境工科専門学校にて
参加者一同

(1) ミャンマー・シ
ャン州のクモ類調査
(2023年)の報告

小野展嗣



(2) アリグモの雄に
おける大型化した鋏
角のメリットとデメ
リット

小林陽・柊雅実



(3) パラグアイの
ニヤンドウティグモ
について

加藤輝代子



(4) タイ王国クモ見
遊山の旅 2023B

谷川明男



(5) 複数の入口を持つ
キシノウエトタテ
グモの巣について

市川武明



(6) 2024 年夏の特別
展で紹介するクモ
類

奥村賢一



(7) 浜辺に生息する
メキリグモ属の未記
載種

加村隆英



(8) 小笠原諸島父島
におけるクモ相の現
状 鈴木佑弥・久末遊

(9) Japan Spider
Catalog のご紹介
鈴木佑弥・日高涼太



(10) ジョロウグモの
個体数密度の 50 年間
(1974 年～2023 年)
の記録

新海 明



次回の例会は、
2024 年 12 月 1 日の予定です

通信原稿投稿先：

谷川明男 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416

E-mail : dp7a-tknw@j.asahi-net.or.jp

通信の原稿締め切りは、4 月末、8 月末、12 月末です。

KISHIDAIA 原稿投稿先：

鈴木佑弥 〒770-8070 徳島市八万町向寺山（番地なし）徳島県立博物館

E-mail : sasaganiya1206@gmail.com

キシダイアの原稿締め切りは、6 月末、12 月末を目安とし、予算枠内のページ数まで先着順といたします。

2023 年度決算

東京蜘蛛談話会

収入の部

2024 年 4 月 1 日

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会費	529,000	
内訳 a.23 年度会費	268,100	欄外 1
b.24 年度以降前納会費	220,000	
c.22 年度以前未納分会費	41,000	
2.寄付	1000	香川然さん
3.雑収入	0	
4.別刷り代	29,430	欄外 2
5.利息	3	
6.クモ基本 60 売上	0	
収入合計	559,433	
7.繰越金		
(1)22 年度以前 前納会費	423,700	
内訳 a.23 年度分	344,700	
b.24 年度分	51,000	
c.25 年度分	24,000	
d.26 年度分	4,000	
(2)特別会計 (プール金)	643,835	
繰越金合計	1,067,535	
合計	1,626,968	

支出の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会誌作成	508,303	123,124 号
2.会誌発送	52,114	
3.別刷り作成・発送	13,744	124 号
4.談話会通信	105,138	167,168,169 号
5.事務局等通信費	53,465	
6.事務用品等	0	
8.予備費	0	
支出合計	732,764	
9.繰越金		
(1)24 年度以降の前納会費	299,000	
内訳 a.24 年度分	261,000	
b.25 年度分	34,000	
c.26 年度分	4,000	
(2)特別会計 (プール金)	595,204	
繰越金合計	894,204	
合計	1,626,968	

繰越金の預け先：郵便貯金（普通）	¥662,633
振替口座	¥181,028
現金	¥50,543
合計	¥894,204

欄外 1：23 年度会費は、前納分 344,700 円とあわせて 612,700 円受領しました。
 欄外 2：1 件(15,686 円)著者からの入金が昨年度内に間に合わず、今年度の収入に回りました。

以上、報告いたします。2024 年 4 月 1 日 会計 須黒達巳 印
 適切に会計処理されています。2024 年 4 月 20 日 会計監査 野口奨悟 印

2024 年度予算

東京蜘蛛談話会
2024 年 4 月 29 日

収入の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 24 年度会費	862,000	4,000 円*201 人+1,000 円*58 人
内訳 a.前納分	261,000	
b.24 年度納入予定分	601,000	
2. 寄付	0	
3. 雑収入	0	
4. 別刷り代	50,000	
5. 利息	3	
収入合計	912,003	
6. 繰越金		
(1)25 年度以降の前納会費	38,000	
内訳 a.25 年度分	34,000	
b.26 年度分	4,000	
(2)特別会計 (プール金)	595,204	
繰越金合計	633,204	
合計	1,545,207	

支出の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 会誌作成	600,000	300,000 円×2 回 (125,126 号)
2. 会誌発送	60,000	増額
3. 別刷り作成・発送	50,000	
4. 談話会通信	120,000	40,000 円×3 回(170,171,172 号)
5. 事務費・通信費	46,960	欄外 1
6. 事務用品等	10,000	
7. 総会・例会	20,000	10,000 円×2 回
9. 予備費	10,000	
支出合計	916,960	
10. 繰越金		
(1)25 年度以降の前納会費	38,000	
内訳 a.25 年度分	34,000	
b.26 年度分	4,000	
(2)特別会計 (プール金)	590,247	
繰越金合計	628,247	
合計	1,545,207	

欄外 1：事務局・会計・編集各 5,000 円，通信 6,500 円，観察会・合宿事前調査費各 10,000 円，
片倉城跡公園利用料 1960 円 通信費・振込手数料等 3,500 円

2023 年度会員動向

2023 年 4 月 1 日時点の会員数 254 名

入会 16 名，退会 11 名

2024 年 4 月 1 日現在の会員数 259 名（一般 201 名，学生 58 名）

多摩だより(10) 八王子城址あれこれ

新海 明

私が長年調べてきたクモの網や餌捕獲、それを巡るクモの生態などの観察の多くは八王子城址を抜きにして語れない。この地で調べたクモの名前を数え上げれば、アカイロ・カラカラ・ヨリメ・ナルコ・ナンブコツブなど枚挙にいとまがない。さらに網から餌を盗むシリアゲムシやクロコバエの調査もここで行ったものだ。1980年代から前世紀の終わりまでに通った回数は200回くらいになるかもしれない。

私が得意とする網の調査は夕方に実施するのが良く、16時ころに自宅を出て17時過ぎに八王子城址の溪流（ここは御殿谷川と言われることを後に知った）に到着すると、懐中電灯を片手に終電車の時間を気にしながらクモの生態を調べた。調査地からの帰りはバスやタクシーもなく、JR中央線の高尾駅まで小一時間をかけてひたすら夜道を歩いたものだ。若く元気だったなあ。

ある夏の深夜だった。溪流の奥にある調査地から「さて帰ろう」と林道を下っていると自動車の回転場あるいは資材置き場だったのだろう、かなり大きな広場に出てくる。その頃はただの砂利がひかれているだけだった。この広場まで来ると「もう少しで林道の出入口だ」という目印となる場所だった。

懐中電灯で林道の砂利道を照らしながら急ぎ、歩いてこの広場に達した時だった。真っ暗な広場の片隅で何かの気配がした。とっさに、この辺りに棲息する動物かと思った。今までにも藪の中を動き回る動物の気配を感じたことが何度かあったからだ。懐中電灯の明かりを気配の方向へ動かすと、その動物は逃げもせず、まぶしそうにこちらに振り向いた。なんと「人」だった。

夜中の森で動物に出会ったりしてもさほど驚くことはないが、「人は怖い」。深夜の森やひと気ない夜の墓場で何度か経験した私の感想である。自身のことは問うまい。夜な夜な出歩く「人」に出会うのは勘弁してほしい。

お互いに訝しんで発した一声は忘れてしまったが、次の言葉は覚えている「なんで、こんなところに…」 「何をしていますんですか？」だった。私は「クモについて調べています」「夜にならないとクモは活動していないから」と、くどくど弁解した。相手の男性は若かったと思う（暗くてしかとはわからなかった）。いわく「私は人生が嫌になるとここにきて一晩を過ごすのだ…」と。私は私でびっくりだったが、よく考えてみれば、夜中に森の中でクモを探している「人」もかなりのものだ。八王子城址でのクモ以外の出会いの忘れがたいエピソードである。

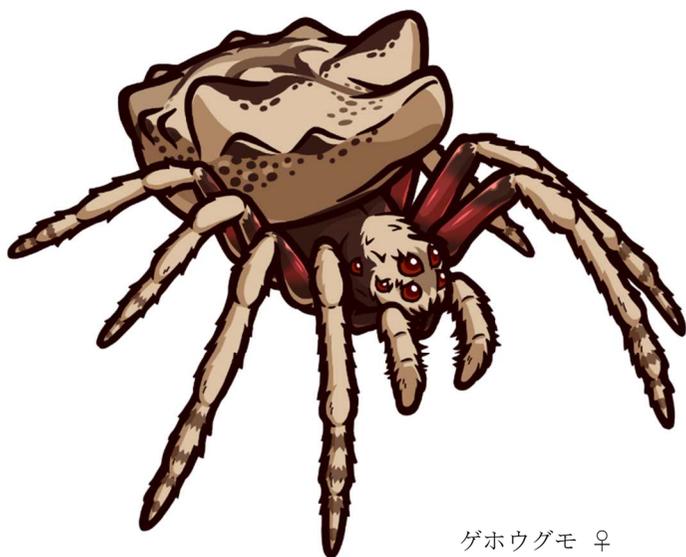
ここでは他に八王子城址の「城郭」を研究している郷土史研究家のMさんという方にもお会いしたこともあった。この城は北条家の山城で、秀吉軍に攻め滅ばされたところ

でもあった。その際に城内に残った婦女子が身を投げたという小さな「滝」も林道沿い
にあった。Mさんには、林道の山肌に残っている城郭の防御の跡や中世のお城の石積み
の痕跡が登山道沿いに散在していることなども教えていただいた。

次回以降は、ここ八王子城址で行ったクモの網を中心にした調査のお話をするにし、
タイトルも「御殿谷川の溪流から」と変えて、新シリーズにしたいと思う。

ゆるクモイラスト

天 木 詩 織



ゲホウグモ ♀



ワカバグモ ♂



ハエトリトリオ
(メスジロハエトリ♀)
(マミジロハエトリ♀)
(ネコハエトリ♀)

入退会は：

事務局 初芝伸吾 〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8

コンフィデンス高垣 105 有限会社エコシス

E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

京蜘蛛談話会の会費は、一般 4000 円、学生 1000 円です。

(しばらくの間会費を値下げしておりましたが、2022 年度より元の水準に戻し、一般 4000 円、学生 1000 円といたしました。)

会費は郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会費・住所変更は：会計担当 須黒達巳

〒150-0013 渋谷区恵比寿 2-35-1 慶應義塾幼稚舎

TEL : 080-5683-2765 E-mail: t.s.schlegelii@gmail.com